

自分のため、大切な人のため。



肺がん検診で 早期発見！

状のない方こそ、定期的に検診を受ける意味があるのです。そして、検診を受けたら必ず結果を確認し、「要精密検査」となった場合、必ず医療機関を受診しましょう。検診は受けただけでは意味がありません。

肺がん・結核検診

今年度の集団検診は、市から約1500円の助成があります。

・対象 4月1日現在で40歳以上の方（65歳以上の方は、検診の名称が「結核検診」となりますが、検査項目は同様）

・自己負担額 500円

（助成額 約1500円）

※4月1日現在で65歳以上の方は無料

・検査方法 胸部エックス線撮影

◆早期発見が大切です
現在、肺がんは治療技術の進歩により、早期のうちに発見し適切な治療をすれば、約8割が治るようになりました。しかし、早期の肺がんには自覚症状がありません。自覚症

胸部エックス線撮影では、撮影した画像を2人以上の医師でチェックします。さらに必要に応じて、受診者の過去のエックス線写真と比較して変化をみることもあります。

エックス線検査は、肺の奥の方の部分のがん（主に腺がん）を見つけるのに適していません。肺腺がんは特に症状が出にくく、女性に多い肺がんのひとつです。

喀痰検査

今年度の集団検診は、市から約3千円の助成があります。

・対象 4月1日現在で40歳以上の方で、肺がん・結核検査を受診された方のうち、痰が出る方やタバコを吸う方

・自己負担額 500円

（助成額 約3千円）

・検査方法 喀痰細胞診（検査会場でお渡しする容器に3日分の痰を採取し郵送）

禁煙始めて
みませんか？



タバコを吸う方は、「低タール低ニコチンのタバコにしたから、健康への影響は減るのでは？」と思うかもしれませ

ん。しかし実際は、ニコチンとタールはタバコに含まれる有害物質のほんの一部であり、その他の約200種類の有害物質はそのまま含まれるため、あまり意味がありません。また、最近流行りの加熱式タバコは煙も出ず、灰や臭いも少ないので一見良いように見えますが、実際はタバコの葉を熱しているので普通のタバコと健康への影響は同じです。

喫煙年数が長い方でも、今すぐ禁煙すれば肺がんのリスクは低下します。毎年5月31日は世界禁煙デーです。ぜひ禁煙を始めてみましょう。

お申し込み・お問い合わせは、健康管理課（2階）

✉ kenkou@city.mobarachi.jp

☎ (20) 1574、FAX (20) 1600

保健センター

☎ (25) 1725、FAX (25) 1865へ。

平成29年度の検診日程

受付時間 午前：9時～10時 午後：13時～14時

実施日	午前	午後	会場
6月 7日(※)	●	●	保健センター
6月 8日(※)	●	●	本納中学校 柔剣道場
6月 10日(±)	●	●	保健センター
6月 13日(※)	●	●	東部台文化会館
6月 15日(※)	●	—	二宮福祉センター
	—	●	豊岡福祉センター
6月 16日(金)	●	●	東部台文化会館
6月 17日(±)	●	●	保健センター
6月 20日(※)	●	●	
6月 21日(※)	●	●	五郷福祉センター
6月 22日(※)	●	●	鶴枝公民館